

# 平成 29 年度 感染症発生動向調査事業関連のウイルス検査結果

保健科学課 ウイルス担当

当所では平成 4 年から福岡県結核・感染症発生動向調査事業に参加しており、現在、8 医療機関 9 病原体定点を対象に検査を行っている。表 1 に臨床診断名別ウイルス検査結果を示す。

平成 29 年度、病原体定点より採取された検体は、130 名、183 検体で、平成 28 年度（184 名、298 検体）よりやや減少した。患者数、検体数ともにインフルエンザが最も多かった。

表 1 平成 29 年度臨床診断名別ウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	陽性数	検体	検出ウイルス(株数)
インフルエンザ	50	51	46	咽頭ぬぐい液	インフルエンザA/H1pdm(20),インフルエンザA/H3型(6), インフルエンザB型(20)
				糞便	
RSウイルス感染症	5	7	1	咽頭ぬぐい液	RSウイルス(1)
				糞便	
咽頭結膜熱	8	11	6	咽頭ぬぐい液	アデノ2型(3),アデノ3型(1),アデノ5型(1)
				糞便	コクサッキーB4型(1)
感染性胃腸炎	12	17	7	咽頭ぬぐい液	
				喀痰	
				髄液	
				糞便	エコー6型(1),コクサッキーB4型(1),ノロウイルスG II(5)
水痘	1	1	0	糞便	
手足口病	30	42	7	咽頭ぬぐい液	アデノ1型(1),アデノ2型(1),エンテロA71型(1), コクサッキーA10型(2),コクサッキーB4型(1)
				糞便	アデノ5型(1)
突発性発しん	3	4	0	咽頭ぬぐい液	
				糞便	
ヘルパンギーナ	7	9	5	咽頭ぬぐい液	アデノ5型(1)
				髄液	
				糞便	アデノ3型(1),エコー6型(1),コクサッキーA2型(1), コクサッキーA10型(1)
無菌性髄膜炎	10	32	11	咽頭ぬぐい液	エコー6型(2),エンテロA71型(1),コクサッキーB2型(1)
				髄液	エコー6型(2),コクサッキーB2型(1)
				糞便	エコー6型(2),エンテロA71型(1),コクサッキーB2型(1)
伝染性紅斑	1	2	2	咽頭ぬぐい液	アデノ2型(1)
				糞便	アデノ2型(1)
その他	3	7	0	咽頭ぬぐい液	
				血液	
				尿	
				糞便	
	130	183	85		

表2に月別、検査法別ウイルス検出状況を示す。  
 ウイルスの検出は細胞（RD-18S, VeroE6, HEp-2, Caco-2, MDCK）培養、Polymerase Chain Reaction

（PCR）等で行った。その結果、85株のウイルスを検出した。2種類のウイルスが検出された検体が3検体あり、検出率は46.4%であった。

表2 平成29年度検体採取月別及び検査法別ウイルス検出状況

検出ウイルス	患者数												検出数	検査方法別ウイルス検出状況					
														組織培養法※					PCR
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		R	V	H	C	M	
アデノ1型			1										1			1			
アデノ2型				1		1		1		2		1	6	2	7	4	2		
アデノ3型					1			1					2		1	1	1		
アデノ5型		1	2										3	1	2	1	1		
インフルエンザウイルスA/H1pdm								1	8	8	2	1	20					20	
インフルエンザウイルスA/H3型	2		1									3	6				1	5	
インフルエンザウイルスB型	2									5	5	6	2	20					20
RSウイルス				1									1			1			
エンテロA71型					2					1			3	3			2		
エコー6型					4	2		1		1			8	8	1		6		
コクサッキーA2型								1					1	1					
コクサッキーA10型		2	1										3	2			1		
コクサッキーB2型								3					3		2		3		
コクサッキーB4型						1	2						3		3	1	2		
ノロウイルスGⅡ	1			1	1						2		5					5	
	5	3	5	3	8	4	3	15	14	15	7	3	85	17	16	9	19	45	5

※ 細胞名の略称 R: RD-18S, V: VeroE6, H: HEp-2, C: Caco-2, M: MDCK